

北見西ロータリークラブ会報

2025~2026年度クラブテーマ

**『縁(えにし)を大切に、和(輪)をもって
ロータリーライフを楽しみましょう!』**
**よいことの
ために
手を取りあおう**

- 創立日 昭和46年4月29日(1971/4/29)
- 承認日 昭和46年5月27日(1971/5/27)
- 例会場所 ホテル黒部(7条西1丁目)
TEL 23-2251
- 毎週木曜日 12時30分~13時30分
- 事務局 TEL 25-2824

- 会長 松井 順仁
- 副会長 村田 望
- 会長エレクト 山本 英敏
- 幹事 近江 孝介

第2500地区ガバナーテーマ

「Rotaryのことを熱く語ろう! ~Rotarian Benefitを紡ぎ、そして育むために~」

第2556回例会
2026年1月22日(木)
H ホテル黒部

本日のプログラム

役員理事半期報告

会長・幹事

第2555回 例会記録

2026/1/15

会長挨拶
松井会長


皆さんこんにちわ、先週の例会は、新年家族同伴夜間例会でした、親睦活動委員会による様々な企画により、会員とそのご家族の方々も楽しいひと時を過ごすことができ、より一層の親睦がはかれたのではないかと思っております。

山口委員長はじめ親睦活動委員会の皆さん本当に有難うございました。

しばらくは、夜間例会もありませんのでゆっくりしていただければと思います。

さて、今月は職業奉仕月間です。国際ロータリーでは、職業奉仕は、ロータリーの会員と参加者が奉仕を実践する方法となり、職業奉仕を通じて、職業のスキルや知識を活かして地域社会で奉仕をしたり、倫理的な行動を推進したりしながら模範を示すことができると表現しています。

私個人と致しましては、5大奉仕の中でも最も重要で基本的な奉仕だと思っております。

そして本日は職業奉仕委員会の担当例会です、窪之内会員の卓話と聞いております、どのようなお話を聞けるのかとても楽しみです、窪之内会員よろしくお願ひいたします。

それでは、本日も美味しい食事と例会を楽しみましょう。

幹事報告
近江幹事

- 1) 本日の例会終了後、理事会を行います。理事の皆様ご出席よろしくお願ひいたします。
- 2) 本日、午後6時から、ホテル黒部にてクラブ協議会を開催させていただきます。

天気 (例会時) 最高気温 -3°C


昼食

- 豚角煮 エビチリ
- 春巻き 海鮮餃子
- かぼちゃサラダ
- ご飯 スープ 漬物
- キャラメルケーキ コーヒー

■ニコニコボックス 黒部親睦活動委員
目黒会員

誕生日のお祝いありがとうございます。息子が北海道庁に就職できたのでホッとしてます。

吉澤会員

今年もよろしくお願ひします。先週の新年夜間例会でわさび入りシュークリームを食べました。

佐々木会員

今年もよろしくお願ひします。

伊東会員

本年もお願ひします。誕生日お祝いありがとうございます。

川島会員

結婚祝いありがとうございます。

小嶋会員

誕生祝ありがとうございます。

役員・理事・委員長の皆様、ご出席お願いいたします。委員長が欠席の場合には副委員長の出席をお願いいたします。なお、出席者が変わる場合は事前に幹事の私までご連絡お願いします。

現在のところ、山本会長エレクト、大場会員、佐藤尊人会員より欠席の連絡をいただいておりますが、その他の方は全員出席ということでおよろしいでしょうか。

何卒よろしくお願ひいたします。

委員会報告

会員増強委員会 小泉(ユ)委員長

アンケートにご協力のお願い

来週2月22日（木）の例会時にテーブルにアンケートをご用意しておりますので例会終了時までにご記入をお願いします。

米川会員より葬儀に際してお礼のご挨拶がありました。



■ 1月の誕生日 福井親睦活動委員

菊池会員、松浦会員、田辺会員、鈴木会員、小嶋会員、伊東会員、目黒会員、伊澤会員



■ 1月の結婚祝 福井親睦活動委員

川島会員、岡花会員、岡村会員

プログラム

職業奉仕月間に因んで

職業奉仕委員会



大場職業奉仕委員長よりご挨拶の後、窪之内会員より東日本大震災の奉仕活動を中心卓話をいただきました。

窪之内会員

皆さん、こんにちは。

本日は、熱心に聞いてくださった方に景品を3本ほどご用意いたしました。

私は2011年2月にロータリーに入会いたしましたが、その直後の3月11日に東日本大震災が発生しました。会社で長く激しい揺れを感じ、「これは十勝沖かどこかだろうか。もしそうなら、うち

の液剤が役立つはずだから準備しよう」と社員に話していました。

しかしテレビを見ると、東北があのような津波の惨状に襲われていました。ただ事ではないと思い、すぐに物資を送ろうとしましたが、運送業者も止まり、自治体の機能も麻痺しており、どこへ送ればよいか分からない状況でした。

震災から4、5日後、日赤看護大学の先生から連絡がありました。

以前より、弊社の液剤の安全性を証明するため、動物実験を依頼していたのです。元々は牛への使用を想定して帯広畜産大学で研究していましたが、ペットへの安全性を懸念する声もあり、看護大学でマウスを使った実験を行っていました。結果、人間が1リットル一気飲みしても問題ないという数値をいただきました。

その先生から「石巻赤十字病院へサンプルを送ってほしい」と依頼がありました。

現地は水不足で洗浄ができず、遺体や泥による死臭や腐敗臭がひどく、衛生環境が悪化して大変な状況だというのです。私の娘が看護師として日赤に勤務しており、以前から商品を試してもらっていた縁もあって、「北見の『きえーる』ならこの臭いを消せるかもしれない」という話が現地で出たそうです。

すぐに送ろうとしましたが物流が止まっていたため、先生の指示で一度札幌の日赤へ送り、そこか

ら「緊急物資」として石巻へ届けてもらうことになりました。被災地広域で使ってもらうため、宣伝も兼ねてスプレー1,000本ほどを無償提供しました。娘からも「第二陣・三陣が行くので持たせてほしい」と連絡があり、「持てるだけ持って行きなさい、余ったら置いてくれればいい」と送り出しました。

その後、物流が回復してきた頃、今度は「仮設トイレ」の悪臭が問題になり始めました。

気温が上がる3月下旬頃のことです。私は「仮設トイレの臭いを消せるのはこの消臭剤しかない」と確信していました。ハエはバイ菌を餌にウジを育てるため、この液剤で菌を抑制すれば、ハエやウジの発生も抑えられるからです。

また、5月頃になると、津波で破壊された冷凍倉庫の電源が落ち、中の魚が腐敗して凄まじい悪臭を放っていることが報道されました。

気仙沼市役所の方と連絡がつき現地へ向かうと、駅を降りた瞬間から頭が痛くなるほどの異臭が漂っていました。「海や松林、住宅があった場所がすべて流され、海がこんなに近くなってしまった」と現地の担当者も呆然としていました。1キロ先の倉庫から流出した魚にハエがたかり、腐敗が進んでいたのです。

この臭いをどうにかできないかと相談され、動力噴霧器を使って希釈した液剤を散布することを提案しました。18リットル缶を30缶ほど寄贈し、散布してもらったところ、後日「国の役人や県、組合の方々も驚くほど臭いが消えた」と嬉しい報告をいただきました。

また、大学の研究者などから「放射能を分解できないか」という問い合わせも多くいただきました。

分解はできなくとも、ゼオライトや木炭がマイナスイオンで放射能（プラスイオン）を吸着するように、この液剤にも同様の効果があるのではないかと私は考えています。実際に福島の桃農家さんから「土壤を除染したい」と依頼があり液剤を送ったところ、放射能の数値への影響は不明ながら、「果物が非常に甘くなった」という報告をいただきました。

さらに茨城県では、原発事故の影響で出荷できず土に廃棄した牛乳が腐敗し、悪臭を放っている現場でも活用されました。この件では農協様に18リットル缶を180缶ほど購入していただき、支援活動の中で唯一の「売上」となりました。

結果として、震災支援を通じて多くの場所で製品を知っていただく機会となりましたが、被災地の衛生環境改善に貢献できたことは良かったと感じております。

ご清聴ありがとうございました。

■例会予告	1月29日	会員増強の進捗状況について	会員増強委員会
	2月5日	平和構築と紛争予防月間に因んで	国際奉仕委員会

出席報告		神野出席副委員長						
	月　　日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した 免除者の数 (D)	事前メー クアップ (E)	事後メー クアップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	1月15日	66 (休会者 3名)	13	49	9	0		79.0%

※但し、休会者3名を含む総数は69名です。